



いよいよ終盤！みんなでアイデアを出し合いました



3回目となる今回は、前回までに挙げられた候補地ごとのデメリットの解決策について考えたり、これまでの対話を通して自分がどう思うか話したりしました。

令和7年1月26日（日）
13時～17時

生涯学園都市会館（まなび学園）

出席者：57名（申込者75名）

会議の内容

第1回・第2回と同様に、慶應義塾大学大学院特任教授の山口覚さんをメインファシリテーター（話の促進役）に迎え、グループに分かれて次のように話し合いました。

- 13:00** はじめに・あいさつ
会議の目的・ルール説明等
- 13:05** アイスブレイク（最近あったこと）
- 13:20** 2回目の作業結果・内容確認と説明
- 14:35** 対話：2つの候補地のどちらかに建設した場合のそれぞれのデメリットについての解決策
- 15:20** 発表
- 16:10** 基本構想・整備方針（市から説明）
- 16:15** 対話：個人的な感想も含めた意見交換
- 16:55** ふりかえり・次回に向けて
- 17:00** おわりに・あいさつ

対話の心得

- 「私たち」と思う
- 話に耳を澄ませて聴く
- 否定も断定もしない
- 答えは一つと思わない
- 一人1回2分以内
- アイデアをつなげる
- 心の変容を許す





*テーブルファシリテーターは山口さんの研修を受けた市職員が担当しています。

今回は、前回までに各班で挙げられた候補地ごとのメリット・デメリットをまとめた資料を見ながら、まずは事務局がもとの意見をどのように集約したのか説明し、第2回までに参加者の皆さんから確認をいただいた点などについては、資料を見ながら補足説明を行いました。

その後、挙げられたデメリットを解決するにはどうしたらよいか、グループごとにアイデアを出し合いました。

また、市として新しい図書館をどのような図書館にしたいのか、「新花巻図書館整備基本構想」に定めた整備方針について、市から改めて説明しました。

最後に、これまでの対話を通して、自分はどう思ったか、他のグループの人とも意見交換をしつつ、それぞれの思いを共有しました。

参加者の声

- 様々な比較や検討、みんなで話し合いを重ねる中で、物事を見る視点が変わった気がする。
- どちらも決定的なデメリットはないし、どちらもメリットはあると思う。
- 自分がいいと思う場所は変わらないものの、もう一方の良さもわかった。どちらでも納得できる図書館になると思うので、早く建てほしい。
- 双方のメリット・デメリットについて話し合いを重ねてきたからこそ、どちらかに決めるのは難しい。次回までに考えをまとめたい。

新花巻図書館の整備状況について情報を発信しているポータルサイト「新花巻図書館のこれまでとこれから」もぜひご覧ください！

ポータルサイトへ▶



基本構想

平成29年8月、市は、市民の皆さんから意見を聞いたうえで、新しい図書館の機能やサービスの基本となる方針として、新花巻図書館整備基本構想を定めました。

新しい図書館の整備にあたっては、市民一人ひとりの生活や活動を基本的に考えながら、先人が育んできた「学びの精神」を受け継ぎ、図書館が次世代を担う子供の読書活動を支援し豊かな心を育てる施設として、また情報を地域や産業の創造に結び付ける施設として、まちや市民に活力と未来をもたらす図書館を目指して、次の3つを基本方針とします。

1. 郷土の歴史と独自性を大切にし、豊かな市民文化を創造する図書館
2. すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館
3. 暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館

第4回 市民会議

*第3回にて、出席者に確認のうえ、予備日としていた第4回を開催することとしました。

令和7年2月15日(土) 13時~17時
生涯学園都市会館(まなび学園)

第2回・第3回で挙げられた候補地ごとのデメリットの解決策について確認した後に、これまでの説明や対話を通して、自身が新図書館の建設候補地についてどう思ったか話し合う予定です。